

インフルエンザの経過記録(保護者記入)

年 組 氏名

インフルエンザは、体調により重症化したり、思わぬ合併症を引き起こしたりすることがあります。健康状態をよく観察してください。また、出席停止期間中（発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで）の検温とその結果の記録にご協力ください。

* 発症日（発症日当日）は、病院に受診した日ではなく、インフルエンザ様症状が始まった日です。
発症日を0日と数え、その翌日から5日間経過し、かつ解熱した2日を経過する期間が出席停止の期間になります。必要があれば、病院受診時に、医師に発症日について相談することをお勧めします。

* 再登校する日の朝まで記入し、登校した日に提出してください。

記録カード

月 日（曜日）	体 温	呼吸器症状（症状があったら○をつける）			その他 （様子を記入）
		鼻水・鼻づまり	のどが痛い	せきが出る	
発症日 月 日（ ）	・ °C				
月 日（ ）	・ °C				
月 日（ ）	・ °C				
月 日（ ）	・ °C				
月 日（ ）	・ °C				
月 日（ ）	・ °C				
月 日（ ）	・ °C				
月 日（ ）	・ °C				
再登校日の 朝の体温 月 日（ ）	・ °C				

～ 出席停止期間を経て、異常がない場合に再登校を学校長が許可します。～

抗インフルエンザ薬の効果で熱が下がっても、インフルエンザウイルスの感染力はしばらくの間残っています。また、インフルエンザでは一旦熱が下がっても、再び発熱する場合があります。（二峰性発熱）。出席停止期間に従い、感染力が弱くなるまで登校を控えることで、インフルエンザの蔓延を防ぐことができます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。